

# 令和5年度 各事業報告について

## (1)北見工業技術センター運営協会 事業報告

工業技術の研究開発及び技術向上を図るとともに国・道の補助事業、委託事業及び支援施策等を積極的に取り入れながら地域産業の振興に寄与するために次の事業を実施した。

### 1. 技術指導及び各種相談

- ① 当センターの機能を最大限生かし、職員一丸となり関係機関及び会員企業と連携を深め現場での技術指導・各種相談をより効果的に推進した。  
また、企業訪問をはじめ電話や電子メール等を活用して迅速な対応に努めた。

### 2. 調査及び研究開発

- ① 企業訪問を行い会員企業等のニーズを把握することに努め、企業ニーズに適応した技術開発、商品開発に取り組んだ。
- ② 道内、道外企業、研究機関等の先端技術の動向調査を積極的に行い、技術レベルの向上を図った。

### 3. 施設設備の利用開放

- ① 会員企業等に商品開発や技術向上を目的として利用していただくために当センターの所有する機械機器及び研修室を開放した。

### 4. 依頼試験

- ① 当センター所有の試験機器を使い、コンクリート圧縮試験・鉄筋引張試験・超音波探傷試験をはじめとする依頼試験に対応し、製品性能の向上と信頼される成績書の発行に努めた。

### 5. 研修会、講習会の開催

- ① 関係機関、団体の主催するセミナー・研究会等の後援等を行い、技術向上を図った。

### 6. 情報の収集及び提供

- ① 企業訪問やインターネット・FAX等を利用することにより、新技術情報・マーケティングに関する実際の業務に直結する情報を把握し、会員企業等のために必要な情報を提供することに努めた。

- ② 相談内容等で公開できるものについては、ホームページ等に掲載し幅広い技術情報の提供を図った。

## 7. 展示会、発表会等

- ① オホーツクウッドクラフトフェスティバル、きたみ技能まつり、溶接技術競技大会等の行事に積極的に参加した。

## 8. 各種補助事業・委託事業

- ① 北見市やふるさとテレワークで進出したIT企業、北見工業大学、関係団体との連携により、ICT産業創出推進事業に取り組んだ。(北見市)
- ② 北海道や地元企業・関係団体との連携で、地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業に取り組んだ。(北海道)

## 9. その他

- ① 地元の異業種交流の場に積極的に参加し情報交換を行った。
- ② 当センターがこれまで蓄積してきた技術を生かし、関係機関へ講師を派遣した。(北海道立北見高等技術専門学院、北海道溶接協会北見支部)

## 【事業実績報告】

| 区 分                    | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 前年度増減 |
|------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 機械・機器利用開放<br>( 時 間 数 ) | 138   | 251   | 352   | 101   |
| 研 修 会                  | 3     | 10    | 6     | -4    |
| 講 習 会                  | 4     | 8     | 3     | -5    |
| 講 師 派 遣                | 17    | 15    | 21    | 6     |
| 審 査 員 派 遣              | 8     | 2     | 5     | 3     |
| 企 業 訪 問                | 217   | 336   | 253   | -83   |
| 傾 向 調 査                | 6     | 18    | 28    | 10    |
| 意 識 調 査                | 13    | 1     | 1     | 0     |
| 新 技 術 開 発              | 1     | 1     | 1     | 0     |
| 新 製 品 開 発              | 4     | 1     | 4     | 3     |
| 巡 回 技 術 指 導            | 121   | 153   | 150   | -3    |
| セ ン タ ー 技 術 指 導        | 204   | 169   | 177   | 8     |
| 情 報 収 集                | 263   | 315   | 281   | -34   |
| 情 報 提 供                | 128   | 165   | 162   | -3    |
| 依 頼 試 験                | 3,061 | 2,051 | 2,286 | 235   |
| 試 作 品 出 品 展 示          | 4     | 1     | 3     | 2     |

## (2) 地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業 事業報告

### 1. 事業の目的

地場産業の発展を加速させるため、地域企業のデジタル化に向けた支援や専門人材の確保・育成を支援することにより、北見地域の製造業におけるIoT、ロボティクス等の先端技術を有する人材の確保、育成及び職場定着を促進させ、生産性の向上や人手不足の改善を図る。

### 2. 事業の内容

#### ①技術力・生産性向上及び専門人材確保・定着事業

具体的な実績としては、企業への生産性向上及び人材確保等の課題の把握、指導相談等について、企業訪問件数(目標数:40社)として63社、延べ148件の対応となった。また、取り組みの成果としての雇用創出(目標数:6名)については、正社員の雇用数が10名であった。(そのうち、優良な雇用数は4名であった。)

その中で特徴的なものとしては、木製遊具の試作開発や醸造所試飲コーナー用ツール開発などの相談があり、製品の改良や製品化研究のための試作開発なども行った他、道内製造業のためのデジタル活用人材育成講座やシーケンス制御による電動機制御技術研修会等も実施した。



【木製遊具の試作開発(北見市内・札幌市内の企業、札幌市立大学との共同研究)】



【デジタル活用人材育成講座】



【電動機制御技術研修会】

### (3)ICT産業創出推進事業 事業報告

#### 1. 事業の目的

ふるさとテレワークで進出したIT企業と、北見工業大学、公設試験研究機関、地元企業が連携した産学官プロジェクトを展開することで、IT企業の定着及びICT人材の集積と、北見発のICT産業の創出による地域経済の活性化を目指す。

#### 2. 事業の内容

##### ①地元企業等へのDX実装プロジェクトの展開

DX実装プロジェクトの展開として、デジタルの力で”魅力ある暮らしと強靱な経済”を創り出すことを目標にした地域ビジョン「オホーツクバレー」を掲げ、地域の魅力発信や課題解決に向けた新たなイノベーションを生み出すハッカソンとして開催いたしました。

具体的には、3月19日～20日、KITAMI BASEを会場に「焼肉ハッカソン」と銘打って、参加者としては主にIT企業を中心とした6社14名で、「北見のゼロカーボンに繋がるシステム」をテーマにプログラムの開発やサービスの考案を競いました。



##### ②北見発プロジェクトの展開

DX実装プロジェクト等のPRを目的としたイベントとして、10月17日～20日に千葉の幕張メッセで開催されたCEATEC2023(アジア最大級のIT技術とエレクトロニクスの国際展示会)において、(株)要のセーフロードV(舗装面の傷み具合を自動計測)と(株)アイエンターの圧力センサーを用いた微発泡ワインの熟成度評価技術についてPRを行った。



##### ③事業報告書の作成

各業務の効果検証及び結果の総括、ICT産業創出による地方創生に向けた施策等について北見市に対して提言を行った。